令 和 ８ 年 ７ 月 １ ５ 日
保健福祉部長寿社会政策課

宮城県高齢者人口調査の結果について

１　調査の目的

この調査は、県が策定している「宮城県高齢者福祉計画」等、各種施策推進の基礎数値として活用するため、県における高齢者人口の動向等を把握するものである。

２　調査の主体　　宮城県

３　調査の方法　　各市町村の住民基本台帳を基に各市町村で調査した数値を集計

４　調査時点　　令和８年３月３１日現在

５　調査結果の概要

（１）高齢者人口（65歳以上）の状況･････････**表１**

高齢者人口は660,900人となっており、総人口が0.7%減少したのに対し、高齢者人口は0.4%増加している。

（２）高齢化率（総人口に対する65歳以上の割合）の状況･････････**表２－１**

高齢化率は30.1%で前年と比較して0.4ポイント上昇している。

【参考】全国の高齢化率は29.4%（令和７年１０月１日現在）

①　広域圏別高齢化率の状況･････････**表２－２**

高齢化率が一番高いのは栗原圏域(43.9%)で、次いで気仙沼・本吉圏域(41.9%)、登米圏域（39.0%)、仙南圏域（36.9%)、大崎圏域（35.3%）、石巻圏域（35.2%)、仙台圏域（26.6%）となっている。

②　市町村別高齢化率の状況･････････**表２－３**

高齢化率が一番高い市町村は七ヶ宿町（45.8%）及び丸森町（45.8%）で、次いで栗原市（43.9%）、山元町（42.5%）、気仙沼市（42.0%）の順で、県内７割以上の27市町村が30%を超えている。

一方、高齢化率が一番低い市町村は、富谷市(23.5%)で、次いで大和町(24.4%)、名取市（24.9%）、仙台市（25.7%）、多賀城市（26.2%）の順となっている。

（３）在宅のひとり暮らし高齢者（65歳以上）の状況･････････**表３**

在宅ひとり暮らし高齢者数は168,259人で、65歳以上の高齢者人口に占める割合は25.5%となっている。